

7. 管理・運営方針

(1) 基本的考え方

① 往時の歴史・文化を楽しみながら識ることのできる管理・運営の実施

平城宮跡にしかない施設や空間等を存分に活用したイベントや利用プログラム等の実施により、誰もが楽しみながら往時の歴史・文化に触れ、親しみ、その内容を識ることのできる管理・運営を行う。

② 発掘調査・研究成果と連動した管理・運営の実施

継続的な発掘調査・研究とそれにより得られていく新たな考古学的知見を積極的に活用し、遺跡の表現や案内、利用プログラム等に適切に反映していくなど、折々の状況に応じた柔軟な管理・運営を行う。

③ 多様な主体のボランティア参画を通じた管理・運営の充実

平城宮跡内で行われてきたこれまでの取組に留意しつつ、地域住民や NPO をはじめ多様な主体のボランティア参画を促進するシステムを整備し、管理・運営の充実を図っていく。

④ 国営公園にふさわしい管理・運営の実施

公園面積が広大であることに留意し、コストに配慮した効果的・効率的な管理・運営を行うとともに、来園者にとって快適性・利便性の高い、国営公園にふさわしい適切な管理・運営を行う。

(2) 運営の方針

① 広報

公園の施設案内はもとより、イベント情報、季節情報等リアルタイムの利用情報をインターネット等を用いてきめ細かく発信するとともに、平城宮跡、さらには平城京全般に関する最新の知見に基づく歴史・文化情報、古都奈良の観光情報等を積極的に発信していく。

② イベント及び利用プログラム

往時の歴史・文化を楽しみながら識^しることができるよう、また、平城宮跡の知名度を向上させ、来訪のきっかけづくりや新たな魅力発見の機会とすることをねらいとして、宮跡の持つ歴史・文化性や施設、空間を存分に活用した、色々な世代、利用ニーズに対応した多種多様なイベントや利用プログラムを企画・実施していく。

また、ボランティアの参画等を通じ公園管理者以外が実施する同様の趣旨・目的を持ったイベントの開催等についても、積極的に受け入れていく。

③ 展示

建物等復元、遺構表示等の屋外展示と資料展示等の屋内展示とが連携し、歴史・文化の体感・体験を行う上で相乗効果をもたらすものにするるとともに、わかりやすく、興味をかき立てるものになるような見せ方の工夫を行う。

特に、建物等復元、遺構表示等の屋外展示については、往時の施設の役割はもとより、遺跡の表現手法の解説も併せて行う。

また、解説について、サインによるほか、ボランティアガイド等による解説、さらには遺構に影響を与えずに発掘調査・研究成果の進展に応じた展示解説が可能な新技術の導入も検討する。

④ 高齢者や障害者等のサポート

施設整備のバリアフリー化などに加え、高齢者や障害者等の利用に配慮した園内交通システムの導入や機器のレンタル、人的サポートなどを行う。

⑤ 利用マナーの向上

安全・快適な利用確保や公園保全のため、不適切な利用や迷惑行為等が生ずることのないよう、予め利用のルールを定め、各種手法を用いて周知していく。

⑥ 防犯、防災、安全管理

昼夜を問わず出入り可能な場所であるため、警察、消防等の関係機関との連絡体制を構築し、防犯、防災に万全を期した管理を行う。また、供用途中には、園内に鉄道や道路が存置されている段階が存在しうるため、交通上の安全確保にも配慮した管理を行う。

表 7 イベント及び利用プログラム（案）

<イベント案>

タイプ	名 称	時期	備 考
宮中儀式、 年中行事 の再現	朝賀	元日	元旦に天皇が出御し、臣下が揃って朝拝する
	踏歌節会	1月	男女が足を踏み鳴らして歌い舞う
	白馬節会	1月	白馬を観覧の後、射礼（全官人が弓を射る）
	曲水の宴	3月	歌をしたためて盃に乗せて流す
	端午節会	5月	騎射と走馬を観覧
	相撲節会	7月	相撲の観覧
	雅楽・舞楽		東大寺大仏開眼法要でも奉納
	外国使節団歓迎儀式		
当時の生 活・習俗の 活用	蹴鞠（リフティング大会）		仏教と共に渡来し、庶民にも親しまれる
	薬猟（薬草摘みツアー）		王侯貴族も行った薬草摘み（山野で実施）
	市（フリーマーケット）		東西2カ所での国営の市の開催
			※現代に見合うような実施方法も検討
宮跡の広 がりや資 源の活用	古代音楽祭・演劇祭		リフティング大会
	万葉集朗詠会		薬草摘みツアー
	夜間ライトアップ		フリーマーケット
	たこ揚げ大会		
	写真コンクール		
	スケッチ大会		
	花見・観梅	2・3月	
	ホテル鑑賞会	6月	
	観月会	9月	
	菊花展	9月	
	野点		
	植木市	春・秋	
	ウォークラリー （遷都祭）		
	インドア イベント	国際シンポジウム	
世界古都会議			
歴史講演会			
発掘速報展			
写真展・絵画展			
（地下の正倉院展）			

<利用プログラム案>

区分	場所	名称	備考
歴史文化活用	屋外	平城宮跡ガイドツアー	
		スタンプラリー	
		土器づくり体験	製作と野焼き
		発掘模擬体験	
		食や染め織り材料の生産	古代米や紅、茜等の栽培
		草花園の管理参加	万葉植物の栽培
		昔遊び教室	竹とんぼ、竹馬、水鉄砲等
		現代万葉集投句	
	屋内	木簡づくり	
		瓦づくり	
		染め、織り体験教室	草木染め、コースターづくり（織り）等
		伝統行事体験	門松、七夕、しめ縄等
		万葉植物押し花教室	
		天平衣裳体験	
		古代食体験	料理教室、試食
		楽器づくりと演奏	竹笛、土鈴、石琴、ささら
		平城京・平城宮講座	奈良時代人物夜話、宮大工講座等
		世界遺産講座	
		平城宮跡ジオラマ製作	
		アクセサリーづくり	玉、金属片、ガラス玉、鹿角等
自然活用	屋外	自然観察会	
		バードウォッチング	
		ホタル飼育教室	
		プレーパーク	冒険遊び
		草花遊び	草花摘み、貼り絵、草笛、人形づくり
		生き物教室	バッタ・トンボ取り、鳴き声観察
		ネイチャーゲーム	
		園芸講習会	
	屋内	しおりづくり	葉脈標本等
		ドライフラワー製作	
		クラフト	どんぐり細工、枯れ枝工作
その他		出前歴史講座	
		ボランティア教室	養成講座
		学校団体向けプログラム	見学コース案内と各種教室の組合せ

<新技術の導入案>

- ヘッドマウントディスプレイを利用したバーチャルリアリティ体験
- 主要施設に設けたQRコードを利用した携帯電話での情報案内
- GPSを組み込んだ端末機の貸し出しによる音声による案内
- 3D映像、ホログラムなどによる立体展示（室内展示）
- 屋外設置型電子掲示板（映像、音声案内）等

図 40 イベント・利用プログラムのイメージ



宮中行事の様子
守門将交代儀式（朝鮮時代の宮中儀礼の復元）



流鎗馬神事（下鴨神社）



雅楽・舞楽（国営昭和記念公園・新能）



花見（平城宮跡）



古代音楽祭（平城遷都祭）



観月会（国営飛鳥歴史公園）



天平衣裳体験（左：第一次大極殿特別公開イベント 右：平城遷都祭）





瓦づくり体験（第一次大極殿特別公開イベント）



染め体験（平城遷都祭）

木簡づくり体験（平城遷都祭）



古代食の再現（平城遷都祭）

自然観察会（国営木曾三川公園）



バーチャルリアリティ（国営飛鳥歴史公園）

(3) 維持管理の方針

① 植物管理

地下遺構の保護や景観形成に配慮した適正な管理を行うとともに、四季を感じられ、生き物の生息環境ともなるような緑地の維持に努める。

② 施設管理

建築物、工作物、設備等については、各施設の有する機能が十分に発揮でき、来園者が安全・快適に活動できるように管理する。

③ 清掃等

利用環境の快適性を保つために日常的、定期的な清掃を行う。また、除草や剪定などで発生した刈草や剪定枝等の再利用など、ごみを発生させない方策を検討する。

(4) 管理・運営体制

特別史跡及び世界遺産の構成資産の一つである平城宮跡に設けられる公園として、関係機関と明確な役割分担を行い、連携調整を密にし、責任ある体制の下での公園の管理・運営を行う。

本公園の管理には、都市公園法に基づく管理のほか、国有財産法等に基づく所有者としての管理、文化財保護法に基づく管理等があり、国土交通省、文化庁、奈良文化財研究所、奈良県、奈良市が関わっている。

これら管理の具体については、施設、空間ごとに明瞭に区分できるものでなく、重層的に発生するものであることから、それぞれの管理にかかる各主体の責務や役割を整理、調整した上で、分担を明確化し、公園利用に支障を生ずることのない管理運営体制を構築していく。

併せて、多様な主体のボランティア参画を受け入れ、管理運営の充実を図っていくシステムを整備する。